

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：2019年7月10日 報告者：鈴木 康太

行事種別	基礎講座	行事番号	190000785	
開催日	2019年6月30日(日)			
時間	開始	10時00分	終了	16時00分
場所	豊田厚生病院 2階講義室 ABC			
テーマ	尿沈渣の基礎～認定一般検査技師はこう見る～			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蜂須賀 大輔 地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 石田 容子 JA愛知厚生連 豊田厚生病院 鈴木 康太			
講師	I. 講義 1) 赤血球・白血球の見方 名古屋掖済会病院 杉原 幸子 2) 上皮細胞の見方 名古屋第二赤十字病院 野村 勇介 3) 円柱の見方 JA愛知厚生連 江南厚生病院 杉浦 里佳 4) 結晶その他の見方 岡崎市保健所 佐藤 千歳 II. 尿沈渣ハンズオンセミナー ～認定一般検査技師の目線～ 公立西知多総合病院 服部 聡 社会医療法人 明陽会 成田記念病院 望月 里恵			
内容	第1講義は赤血球・白血球の見方について杉原技師より講演があった。尿沈渣検査における糸球体型・非糸球体型赤血球の鑑別は重要であり臨床的意義は非常に高いと考えられる。 赤血球の形態変化の理論について解剖学を交えながら解説された。また写真を提示し、受講者に赤血球形態を鑑別してもらう実践形式の講義を行った。白血球に関しては、白血球の生死の鑑別や類似細胞との鑑別方法の説明があった。また赤血球・白血球と類似細胞を共にスライドに示し1つ1つ鑑別ポイントについて詳しく説明があった。 第2講義では、上皮細胞の見方について野村技師より講演があった。特に異型細胞は一般検査に携わる臨床検査技師が苦手と感じている。異型細胞を鑑別する為には、正常細胞の理解が重要であり細胞所見の取り方や観察ポイントについて詳しく説明があった。また正常細胞や異型細胞等の写真問題を提示し、受講者に答えてもらった。本日の総復習を行うことで受講者の理解を深めることができる内容であった。 第3講義は、円柱類の見方について杉浦技師より講演があった。円柱の生成機序から、円柱の種類、鑑別・判定ポイントの説明があった。硝子円柱判定のフローチャートにつ			

	<p>いては、写真を用いて詳しく判定手順の説明があった。混合円柱や、成分円柱など各円柱について鑑別ポイントが写真をもとに解説され、また、最後には写真問題提示にて復習できる内容となっていた。</p> <p>第4講義は、結晶その他の見方について佐藤技師より講演があった。塩類、結晶の種類、通常結晶と異常結晶の各ポイントについて説明があった。結晶について、形だけで判定するのではなく尿pH、溶解試験などを行い確認するということが必要であり、それぞれの結晶に関して細かく写真を添えての説明があった。また、異常結晶が出現する代表的な疾患の説明もあった。その他成分に関しては、細胞以外の混入物を見間違えないようにという内容であった。</p> <p>最後は、今回の基礎講座より尿沈渣のハンズオンセミナーを初めて試みた。尿沈渣の基礎成分と同じような有形成分が出現する症例であるが、病態が異なる症例について解説を行った。写真では表現できない立体感や見え方について実感できる新しい成分の見せ方であり、実際の業務に役立つ講演方法だと感じた。しかし、カメラの仕様に不慣れな事もありスムーズに成分を表示することが難しい点や無染色標本とS染色標本のコントラストに差を付けなければいけない点もあり成分が表示されるまで時間を要した事は、改善しなければならないと考える。今後も尿沈渣をより理解しやすい講演の方法を模索したい。</p>
参加者	総数：101名（会員 95名、県外会員 6名、非会員 0名、賛助会員 0名、学生 0名、その他 0名）
共催、後援など	